

授業と評価の年間計画

教科	公民	科目	倫理	
履修条件 対象生徒	必修 普通科（文型） 3年			
学習目標	人間尊重の精神と生命への畏敬の念に基づき、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。また、その思索を人格形成に努める実践的意欲につなげ、他者と共に生きる主体としての自己を確立し、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。			
学習方法	授業では、予習した内容を前提とし、授業で思想家や哲学者の思考について考える。プリントを軸とするが、資料集なども活用して独自のノート作りを心掛ける。また、不明な事項を質問したり、自分の意見を発表したりするなど、授業に自主的・主体的に参加する。 家庭学習は、ノートに添付するかファイルした授業プリントで教科書等を予習するとともに、問題集で既習事項の理解度を高めておく。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間考査まで ア 青年期の課題と自己形成 イ 人間としての自覚 (ア) 人間とは何か (イ) ギリシャの思想 (2)期末考査まで (ウ)キリスト教・イスラーム・仏教 (エ)中国の思想、芸術と人間 ウ 国際社会に生きる日本人の自覚 (ア) 日本人の精神風土 (イ) 外来思想と日本の伝統思想	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義と課題を理解し、自己形成や他者と共生する自己の生き方について考える。 人生における哲学、宗教、芸術の意義などを理解し、人間としての在り方生き方についての考えを深める。 源流思想の内容を理解し、それに基づいて現代の諸課題についての倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共生する自己の生き方についての考えを深める。 		
	2 2学期 (1)中間考査まで (ウ)西洋思想と日本人の近代化 (エ)国際社会に生きる日本人の自覚 エ 現代を生きる人間の倫理 (ア) 人間の尊厳の根拠を求めて (2)期末考査まで (イ)民主社会と自由を求めて (ウ) 社会変革の倫理を求めて (エ)新たな人間像を求めて (オ)自然や科学技術と人間との かかわり (カ)民主社会の成熟のために	<ul style="list-style-type: none"> 日本人のものの見方・考え方の特質を自己との関わりで理解し、日本人としての在り方生き方について自覚を深める。 西洋の近代・現代の思想について学び、現代の倫理的課題を自己の課題とつなげて探求する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付ける。 		
	3 3学期 (1)学年末まで オ 現代の課題を考える	<ul style="list-style-type: none"> 現代の倫理的諸課題の中から、課題を選択して追究し、自ら主体的・積極的に課題に取り組みながら生きる態度を養う。 		
評価基準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	哲学、宗教など多岐にわたり関心を持ち、意欲的に探求し、自分の人生に役立つ知恵を得ようとする態度を身につけているか。	対立、類似する様々な立場の意見を把握した上で、多角的に考察しているか。 考察をもとに、公正に判断しているか。	考察を深める諸資料を十分収集した上で、適切に選択・活用しているか。 他の生徒に伝わるように自分の意見を表現できているか。	学習内容の基本的な事項について、体系的かつ総合的に理解し、知識として定着させているか。
評価方法	定期考査の成績を重視するが、課題提出状況・出席状況・授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
その他	学習進度は状況によって違ってくる場合がある。			